（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北信地域）

平成２７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中野陣屋・県庁記念館周辺イルミネーション装飾事業
事業主体 （連絡先）	中野陣屋 光と音のシンフォニー実行委員会 （信州中野商工会議所内）
事業区分	主：⑥エ商業の振興 関連：⑥ア特色ある観光地づくり、③教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	２，３６７，２１６円（うち支援金：１，４９１，０００円）

事　業　内　容

冬季の中心商店街への誘客対策としてイルミネーションの装飾と各種イベントを実施。併せて、地元商業者のまちづくりへの参画意識を高めた。

①中野陣屋・県庁記念館周辺及び地元商店のイルミネーション装飾
②地元商店会との連携による誘客対策
③親子ものづくり体験教室の開催
④地元音楽家によるコンサートの開催

【点灯式】

【目標・ねらい】

①冬季の商店街の誘客対策
②中心商店街のまちづくりに対する意識醸成
③地元高校生のまちづくりの場の提供
④長野県建築士会中高支部のまちづくりの場の提供
⑤商店会との連携
⑥市民と商店街の協働実施
⑦地元音楽家の発掘と音楽都市としての魅力の発信

事　業　効　果

①中心市街地への誘客対策が図られた。
②地元商店が自前で自店をイルミネーションで装飾したことで、相乗効果を生むことができた。
④長野県建築士会中高支部のまちづくりへの活動の場が提供できた。
⑤地元商店会事業と連携することで相乗効果が得られた。
⑥市民参加が得られ、市民・商店街・高校生が一つの事業を行う交流の場ができまちづくりのための繋がりが深まった。
⑦地元音楽家の発掘及び発表の場を提供することができ、音楽都市としての魅力を発信できた。

今後の取り組み

・今以上に市民が参加でき、商店街と交流ができる事業に発展させていく。
・協力団体や地元商店街の協力体制を強化し、事業を発展させていきたい。

※自己評価【Ｂ】

【理由】
予定した事業が全て実施でき、主たる目的の中心市街地の活性化に寄与できた。
市民参加の事業ができ、イルミネーションを見に来る来街者が増加した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある